

## 地域資源活用部門

### 人と自然が共生するカタクリ 100万本の里山

矢環境緑化実行委員会 会長 ○宮本 敬一  
矢環境緑化実行委員会 事務局長 高松 誠  
福井県 大野市 建設整備課 今村 智子

#### 1. 活動方針・目的

大野市矢地区は、背後を山に囲まれ、前面には水田が広がる農村集落です。時代の流れとともに里山は荒廃し近づくことさえなくなりました。その里山を区民の協力のもと、整備し桜の名所を目指して桜を植樹。整備を継続していたところ、山の斜面にカタクリの群生地を発見。整備を継続し、年々カタクリの群生地を拡大。カタクリ 100万本の里として「訪れた人に感動を与える」を目標にスケール、美しさなどオンリーワンを目指しています。

#### 2. 活動内容

平成 18 年、区民により整備開始。雑木を伐採し、桜を 120 本植樹。平成 19 年、切り花用の桜を植樹。現在、市内で販売し、雇用を創出。カタクリ群生地を発見。平成 20 年、桜とカタクリの里整備拡大。里山を一般公開することを決定。林内遊歩道を整備。平成 21 年、第 1 回春の花まつりを開催。オープニングイベント、テント市を実施。交流広場、駐車場を整備。平成 22 年、第 2 回「かたくりまつり」を実施。園路整備。整備協力金の徴収を開始。赤そば、クリンソウ、菜の花、コキアも栽培。平成 25 年、活動拠点施設・ビジターセンターを開設。平成 26 年現在、カタクリ 3ha、100 万本（西日本最大）、桜 400 本、あじさい 1000 本、カエデ 200 本。かたくりまつり来場者 3000 人。

#### 3. 他の活動団体の参考となる事例

当初は補助金を利用し整備していたため、イベントなどソフト事業は全て持ち出しとボランティアでした。かたくりまつりは、毎年のごとく、事務局としても区民に頼みづらく感じていました。そこで、入場者に整備協力金として、一人 300 円をお願いすることにしました。その収入から、手当を出し、区民のモチベーションを上げる仕組みを取り入れました。また、補助金の対象外となる整備などにも、自由に使える資金ができました。

#### 4. 今後の課題等

当地区もご他聞にもれず少子高齢化の波が訪れています。それに伴う人口減少と世代間交流が減りこのままでは地域コミュニティーが成り立たなくなるのではと危惧しています。それを食い止める良い方策は見つかりませんが、今住む人が楽しく元気に暮らすことが今一番大事と考えます。そこから新しい展望も開けてくるのではと考えています。

現在行っている環境保全活動やカタクリ祭りなどのイベントなどに地域以外の団体や学校等に癒しの空間と時間を提供し、われわれは交流を通して地域に活性化の風を入れたいと思っていますが、交流をしていただける方を求めています。その方法などがあれば教えていただきたい。

また、実際のカタクリの感動は、写真では伝わりません。本当に素晴らしいので、多くの方に来ていただきたい。そこで、他の団体で行っている PR 方法を教えていただきたい。

# 第10回関西元気な地域づくり発表会



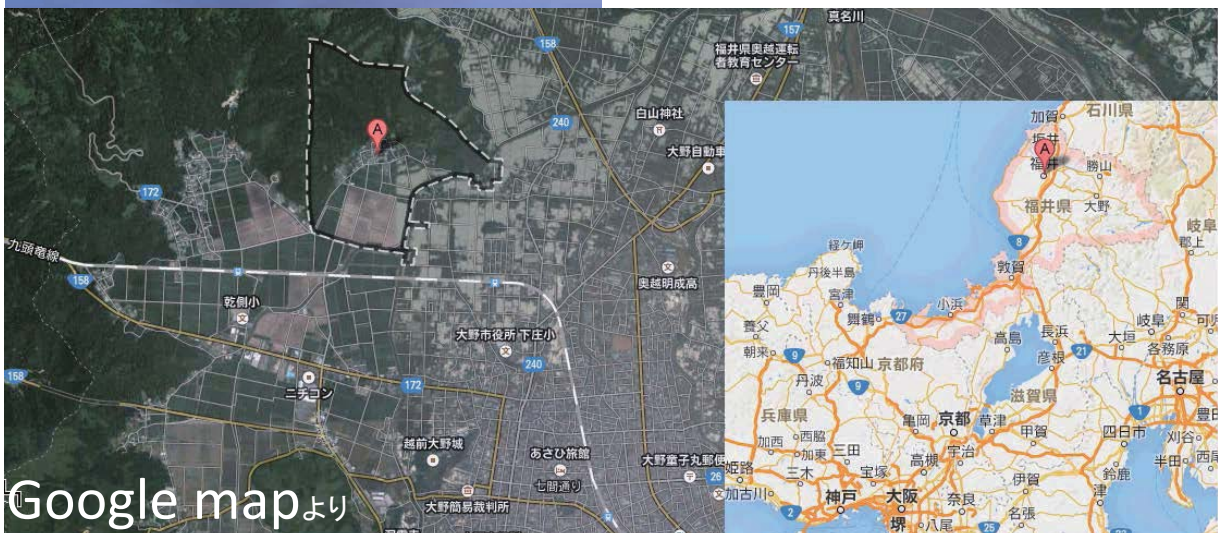
## 人と自然が共生する カタクリ100万本の里山

～矢環境緑化実行委員会～

矢環境緑化実行委員会 委員長 ○宮本 敬一  
矢環境緑化実行委員会 事務局長 高松 誠  
福井県 大野市 建設整備課 今村 智子



## 福井県大野市 矢地区の紹介



# 整備前の里山 平成17年頃



## 区民で整備を開始



## お寺の周囲の桜の名所としよう



# 裏山の整備を開始



カタクリの群生地を発見。公開へ。



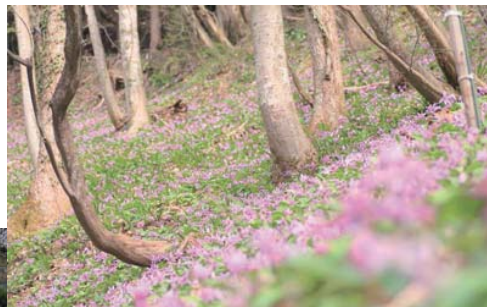
# 柵 歩道 駐車場の整備



# かたくりまつり



地区全体に  
花と緑を



矢ばなの里



# 「交流仲間募集中」 矢ばなの里deふれあい交流

